

前略 ■ 筆録をよく読むことは大変良い勉強になります。先達の筆録をそのまま子ども達に授業してみるのも良い勉強になります。再現授業と名付けましょうか。● 校内に教式を勉強している同僚のいない学校では、授業を見ていただくことも難しい場合があります。昔独りで教式の勉強をするのに、子ども達には筆録の内容を見せず、私は筆録に書かれた内容を見ながら授業をしたものです。子ども達には「先生はここ(筆録)に書いてある通りに訊くから、皆さんもここに書いてある通りに教えてくださいね。」と無理なことを言いながら。● 笠原昭司先生の「一つの花」や助松太三先生の「はまひるがおの小さな海」の筆録等々です。● 先達の授業は大変なもので、そこにある発問をそのまま問うと、子ども達は筆録にある通りに答えてきます。地域も指導者も子どもも指導時期も違うのにです。ところが私が読み落したり、筆録に書かれていない無駄な話をすると答えてきません。実に筆録には抜きも差しもできない問いがあるのです。それでいて深みがある授業。ぜひ再現授業を試みてください。そして先達の授業を体得してください。筆録を読んで頭でわかったつもりになるのではなく、実際にやってみることが大事です。



イブキトリカブト

根に毒があり猟師が矢毒に使ったとのこと。キンポウゲ科の花で太陽の光で輝く。どことなくとぼけた顔に見えるのは私だけか。そこへ蜂が飛び込む。9月13日撮影。

2014.12.10 教式短信 9